

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	S46~		
総合計画	大項目	基本目標	04
	中項目	基本施策	03
	小項目	施策	01
事務事業名	08	かき海道漫透事業	
根拠法令・例規等	問	担当課(室)	商工観光課
	合	職・氏名	観光係長 金藤 康樹
	先	電話	64-1832(274)
		このシート作成に要した時間	4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	観光客、市民
目的(何のために)	かきをメインにした観光・地域活性化事業を実施、支援することで市民融和及び観光客の動員を図る
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	イベント集客数の増加

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	ひなせかき祭補助事業	ひなせかき祭実行委員会への祭の補助。560,000円	
	かき海道漫透事業	近隣市町との連携による「かき」のPR等。	
	JR赤穂線沿線地域活性化事業	兵庫県と岡山県が事務局を持ち回り、加え相生市、赤穂市、備前市、瀬戸内市、4市観光協会が構成されたR赤穂線沿線地域活性化連絡会議において活性化対策を行う。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果						
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値	
		目標値(A)	42,000	42,000	42,000	42,000
		実績値(B)	40,000	40,000	40,000	到達目標値
イベント集客数		95.24%	95.24%	95.24%	毎年度	
成果指標設定の考え方・式や説明						
ほぼ前年とよりの集客数						

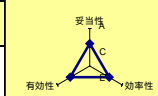
事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度 市民参画度		

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	「日生カキオコ」による観光客の増加は大である。B級グルメやB1グランプリがテレビ放送、新聞などをにぎわしている。このチャンスをいかし、備前ブランドとして定着できるようにPRすることで誘客促進を図る。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		560	560	560	
	必要人員(人件費)	千円	0.28人	1,901	0.43人	3,305
	事業費		2,461	3,865	2,777	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源			2,461	3,865	2,777	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	イベント(かき祭り)	説明				
	結果指標量	事業	1	1	1	
	対前年比	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	2,461,000	3,865,000	2,777,000	
単位当たりコスト		2,461,000	3,865,000	2,777,000		

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
「日生カキオコ」人気を利用して、経費節減の中、有効なPRを考えながら知名度アップを図っていく。	評価区分 <A~E>	C



平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	産地びぜんブランドの推進を図る。自主活動している団体に支援(経費のかからないPR・広報)などを検討する。「カキオコ」のB級グルメを利用して全国展開しやすい後方支援をする。					

Action